KAZUCCI

精霊漂音　Record Buddha's Day

Disc 1	湧井戸池	Well Pond	48:41
Disc 2	隠居家跡	Retirement House	51:00
	江戸墓群	Edo Period Cemetery	24:05

Disc 1　2022年8月15日　月曜日（送り盆）夜21:00　録音
Disc 2　2022年8月15日　月曜日（送り盆）夜22:00　録音
　　2022年8月15日　月曜日（送り盆）夜23:00　録音

All Tracks Recordings By Kazuyoshi Ishikawa
Manufactured And Published By Kazucci Records
Designed By Kazuyoshi Ishikawa [Graphunki]

©2023 Kazucci Records
KZCD-005

Kazucci Records

4 580611 890048

Copy №　　/ 50

日本では一般的に8月13日～16日あたりがお盆とされ、都会や遠い地で働く家族はこの時期になると一斉に帰省し実家のご先祖様に手を合わせます。黄泉からご先祖様が実家に帰って来る「迎え盆」、そして黄泉に戻っていく「送り盆」があります。果たして、昔からの行事やしきたりというだけで片付けられるものなのだろうかと、ふと考えたりします。ご先祖様に手を合わせるのはお盆ではなくてもいいのでは？日本国中が大移動する訳ですからこの期間でなければいけない絶対的な何かがあるのでは？ という疑問が残ります。

迷信やオカルト、霊の存在を信じる信じないは別として、何か興味深い事が出来ないだろうかと考えたのが今回の「お盆を録音する」という試みです。

実家の石川家は、岩手県一関市の北上川に程近い場所にあり、世界遺産の平泉にも近い場所です。江戸時代から続く旧家で、文献が残っておらず正確なところまでは不明ですが、私で17代目になるとされております。江戸時代にはお酢を製造販売するなどして繁盛し栄華を極め、かなりの土地を所有していたと伝えられています。しかし第二次世界大戦後、農地改革という制度に焦った当時の石川家は、国に土地を取り上げられるのではないかと勘違いし、ほとんどの土地を一般に売り払ってしまったそうです。現在は実家を含む山林や田畑など1.2ヘクタールほどが残っている状況。

そんな実家の周りには江戸時代、明治時代からの歴史ある形跡がいくつか残されています。何代もの多くのご先祖様がここで生活を営んでいた風景を想像するだけでロマンを感じます。今回はその中から3箇所に絞りフィールドレコーディングを試みました。録音を予定していたお盆の3日間のうち13日と14日は雨模様のため中止。昼間は晴れ間もありましたが蝉が騒がしいため敢えて外し、雨上がりの15日、送り盆の夜だけが録音可能となりました。ちなみに今回は実家直系の甥（13歳）が京都から来ています。ある意味特別な録音になったと思います。

方法として、録音を開始したら自分は家に戻り録音現場は無人の状態にしています。ただ録音するだけでは面白みに欠けるため、3つの風鈴（南部鉄器風鈴、鈴虫風鈴、松虫風鈴）を設置。夜はほぼ無風なのですが、たまに風や何かが流れるときがあります。いずれの場所も県道に近いのでごくたまに車が通る音が入ります。機材はTASCAM DR-05Xを使用。聴きづらいノイズや虫による極端な高周波音などはイコライジングなどで調整しています。エフェクト類は一切使用していません。録音対象の性質上、これ以上音圧・音量を高くすることが出来ませんでした。聴く際はボリュームを高くするか、細かい音も確認できるヘッドフォンを推奨します。

「歴史ある土地にご先祖様と直系子孫が集まる日、その霊的な場所」で一発録音をしたら何が録音されるのか、という実験です。目立って何かが起こるという訳ではありませんが、もしかしたら何かの音なのかもしれないという想像力で聴く方が面白いかもしれません。

Disc 1　湧井戸池　Well Pond

井戸は昔から霊的な場所とされていて疎かにできない場所です。この湧井戸は江戸時代から今もなお現役。昔は三段ほどの井戸池が存在していたらしいのですが現在は一つのみとなったようです。この井戸池には昔からアカハライモリが生息しています。しかし現在はザリガニが目立つようになってしまいました。

虫の音が終始鳴り響き、風鈴が時折激しく揺れ、水滴が弾け、微かにウシガエルのような鳴き声も聞こえます。二、三度ほど声が聞こえますが、すぐ近くに住んでいて昨年亡くなったおじいさんの声にも似ています。不気味な飛行機の音も長い時間をかけて通り過ぎていきます。蜂の羽音のような、もしくは電子音のような低音が何度かマイクの前をよぎります。正体は不明ですが想像力を掻き立てられる音です。全体を通して随所に変化があり興味深い録音です。

Disc 2-1　隠居家跡　Retirement House

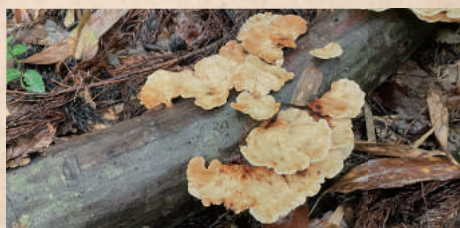
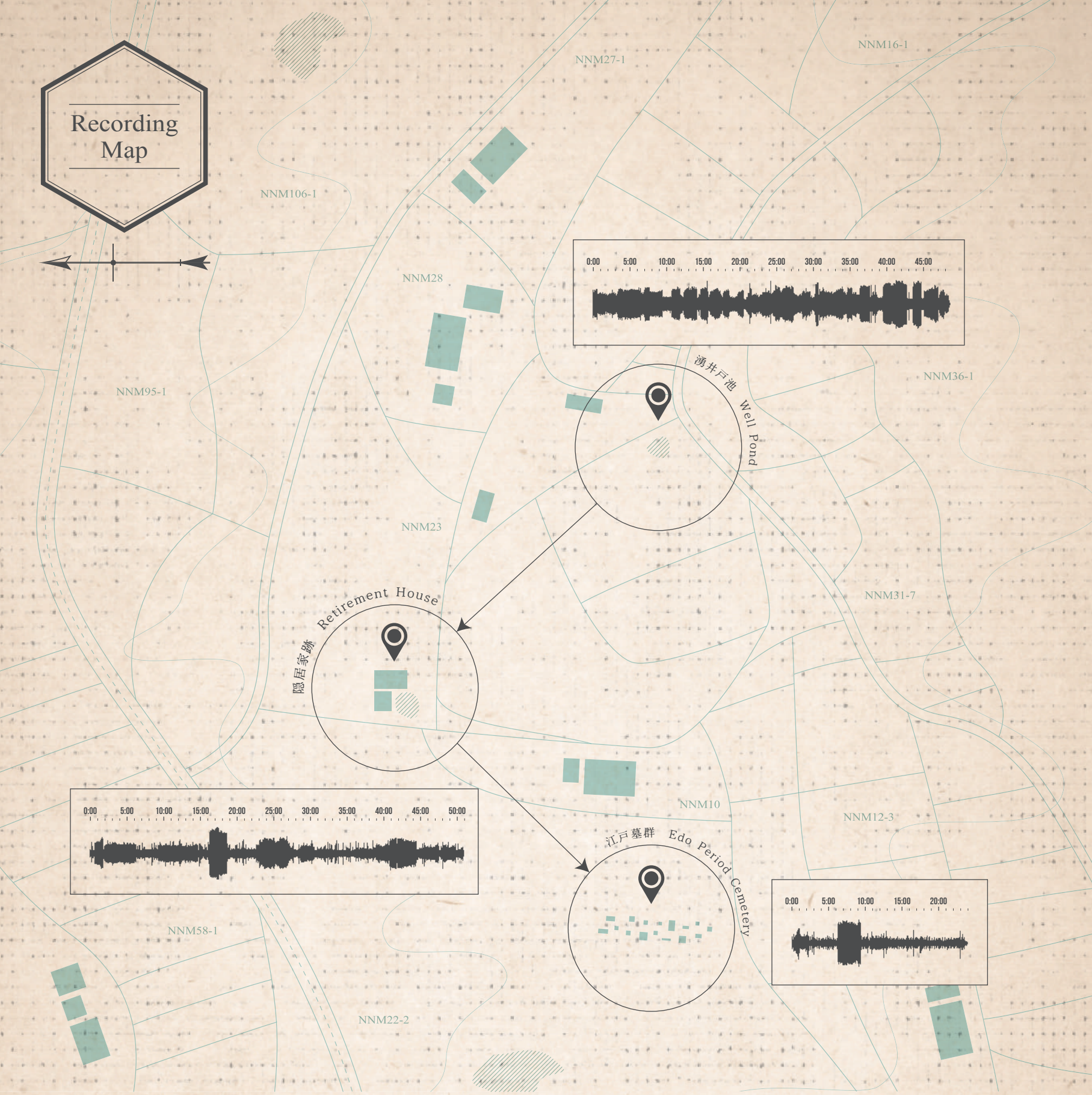
旧実家の離れでもあった隠居家は崩れて無くなってしまいましたが石垣とその前の池が湿地帯となり今もなお残っています。隠居家が存在していた時代は、この前で撮影された写真が多く残っているので特別な建物だったと思われます。

竹林、楓、杉といろんな木々に囲まれている空間です。ここも虫の音が終始鳴り響いています。雨除けに落ちる雨滴の音が大きく少々気になります。元々湿地帯のため多少の降雨でも浅い沼地となり、時折水滴音や気泡の音が聴こえます。不思議にここは風の通りがなく、風鈴は忘れた頃に数回揺れています。こちらの録音でも不気味な飛行機音が何度か通り過ぎます。また、どの部分とは言いませんが微かにザッ‥ザッ‥という何かの足音にも聴こえる部分が数箇所あります。気のせいかも知れませんが。

Disc 2-2　江戸墓群　Edo Period Cemetery

明治以降は新墓に移ってしまいましたが、実家の裏山にひっそりと27基ほどの古い墓群と石仏があります。大きさも形状も様々で、苔むし傾き、明らかに明治時代より前の江戸時代の墓群と思われます。一番霊的と思われる場所ですが怖いというよりはなぜか落ち着く雰囲気がある場所です。

風鈴は初めの方に集中し揺れています。他のトラックでもそうですが風鈴が鳴る時、時折耳では聞き取りにくい低音がまとわりつく時があります。イコライジングで減っていますが、マスター音声でも確認できるのできっと何かの音でしょう。正体は不明です。また、人は絶対来ない森の中ですが、一度クシャミの音がします。5年前に亡くなった父親のクシャミにも似ています。録音した後半30分ほどは音に変化がなかったため前半の24分だけ収録しています。



Recording Map